

ふたば

春号



新年度のご挨拶

2018年度の始まりにあたりご挨拶申し上げます。

今年の2月から3月には、韓国のピョンチャンにて世界のスポーツの祭典・冬季オリンピック・パラリンピックが開かれ、日本選手の活躍が明るい話題となりました。個人種目で、輝かしい結果を示した選手のパフォーマンスが感動的だったことは勿論ですが、個人的にはスケートのチーム競技パシュートの金メダルに大変感銘を受けました。個人では能力の勝るオランダチームに対し、練り上げた戦略と、抜きん出たチームワークで挑み、日本人気質の良さを最大限に発揮した素晴らしい勝利だったと感じました。医療の世界でも、チーム医療が色々な領域で少しずつ浸透し、特に感染対策、医療安全、NSTなどの領域ではこの10年前後で飛躍的に進歩を示していると感じています。私達の病院でも、医療の質の向上のためには、様々な職種がチームとして貢献して体制の強化に努めており、その成果がいろいろな場面で感じられるようになりました。一方、院内だけではなく、地域の中でも、役割の異なる医療機関同士の連携により地域包括ケアの体制を機能的に向上させることが求められており、その事により状況の異なる様々な患者さんへの最適な医療の提供の可能が広がってくると考えられます。さらに、東区におきましては、当院を中心として「広島市東区感染管理ネットワーク」を立ち上げ、研修会その他の情報交換を通じ、参加いただくそれぞれの医療機関と協力し合い、感染対策に関する知識や技術を高め、地域全体の感染管理のレベル向上を推進するための活動を行なっています。

今年度も、皆様方には、色々とお世話になることと存じますが、何卒宜しく御願い申し上げます。



JR 広島病院 院長 小野栄浩

新任医師のご紹介

4月から着任しました7名の医師です。



消化器内科 医長
大原 英司
(おおはら えいじ)

消化器管(胃・大腸)を専門としています。苦痛のない内視鏡検査を心がけています。



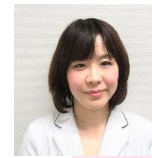
外科 医長
大城 望史
(おおしろ たかふみ)

消化器外科、特に大腸がんを専門にしています。これまでの臨床経験を基礎に、最新治療に対しても日夜研鑽を積んでいます。



整形外科 医長
須賀 紀文
(すが のりふみ)

膝疾患を専門としています。気軽に御相談ください。



泌尿器科 医長
内藤 美季
(ないとう みき)

泌尿器がんをはじめとして、排尿障害や感染症など泌尿器疾患でお困りの方々のお役に立ちたいと考えております。



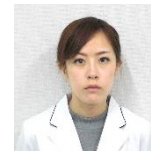
産婦人科 医長
山縣 麻衣
(やまがた まい)

千葉大学を卒業後千葉県内の病院に勤務しておりましたが、この度故郷の広島に戻ってきました。少しでも皆様のお役に立てるよう頑張ります。これからよろしくお願いいたします。



リウマチ・膠原病内科 医師
石徳 理訓
(いしとく みちのり)

丁寧な診察、説明を心がけ、患者様に安心して治療を受けていただけるよう努力いたします。宜しくお願い致します。



眼科 医長(復帰)
湯浅 知世
(ゆあさ ともよ)

丁寧な診察、わかりやすい説明を心がけ、患者様に信頼していただける医療を目指してまいります。よろしくお願いいたします。

在職中はお世話になりました。(3月退職医師のご案内)

消化器内科 中尾 円

循環器内科 藤井 雄一

整形外科 新本 卓也

外科 齊藤 保文

眼科 出口 香穂里

42名の新たな仲間が加わりました

上記でご紹介させていただいた医師を含め、今年度初 医師6名、研修医4名、看護師31名、事務職員1名 計42名の新たな仲間を迎え、平成30年4月2日当院において辞令交付式を行いました。その後、職種に分かれて新入職員に対する研修を実施しました。現在病棟等では、新人看護師達が先輩職員の指導のもと新たな環境になじんでいこうとしている姿があちこちで見られ、春の訪れとともに当院でも新鮮な活気が生まれています。



院内保育施設『のぞみ保育園』が開園しました

平成30年3月28日、当院の職員が利用する院内保育施設「のぞみ保育園」の開園式を実施しました。当日は保育施設を利用される親御さんをはじめ、保育園に関わる関係者やTV等のメディアにも参加していただき、和やかな雰囲気のもとセレモニーが進みました。のぞみ保育園では月極保育、病院と連携した病児保育を実施しており、職員が安心して就労出来る環境を提供していきます。(実際の保育園の運営は4月2日から開始しております。)

